

さわごい

สมาคมมิตรภาพ ไทย. ชาอิตามะ

2008年11月
19号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局
〒350-1192 川越市田町32-12
武州ガス(株)内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

埼玉王

▶ 総会会場風景



約百名が出席 第10回総会・懇親会開催

六月五日、午後三時から、第十回総会・懇親会が浦和東武ホテルを会場に行われ、約百名の出席がありました。

本年度の議題は、平成十九年度の事業報告、収支決算報告と平成二十年度の事業計画案、収支予算案の二議案で、両案共に満場一致で承認されました。これにより、本年度の施設建設事業は、チェンマイ県メーテン郡のバーンパーンホウエイター校に図書館を建設することに決定しました。続いて、来賓として出席された山口泰明顧問から祝辞をいただきました。

その後、当友好協会事務局により「埼玉・タイ王国友好協会 これまでの歩み」の説明が行われ、吉田事務局長が十年間の活動の足跡をスクリーンに映し、苦勞話なども交えながら説明しました。

総会後の懇親会では、来賓としてタイ王国大使館のサンワット・ウォンシンサワット公使参事官が挨拶に立ち、当友好協会への期待と感謝を述べられました。また当日やむを得ず欠席となられた土屋義彦名誉会長と土屋品子顧問から総会開催を祝う電報が届き、出席者に紹介されました。



▲拍手で来賓を迎える会員の皆さん



▲挨拶するサンワット・ウォンシンサワット公使参事官



▲祝辞を述べる山口泰明顧問



▲スクリーンを見ながら足跡をたどる出席者達

懇親会 歓談風景



盛大で和やかな引渡し式

―原会長総会挨拶の抜粋―



▲総会
原会長
原でござ
います。
本日はお
忙しい中、
埼玉・タ
イ王国友
好協会第十回総会にご出席いただきましてまことにありがとうございます。

当協会は、埼玉県とタイ王国の更なる友好関係の進展を図ることを目的として、平成十一年三月十六日に設立され、今年で記念すべき十年目を迎えました。お蔭様で関係者の皆様のご支援・協力により、五月二十日現在の会員数は、法人会員一二七件・個人会員二三〇件の合わせて三五七件になっております。誠にありがたく、会員及び関係者の皆様に深く感謝とお礼を申し上げる次第であります。

さて、当友好協会の活動につきましては、広報誌「さわっでい、埼玉」でもご報告申し上げておりますが、昨年度は当協会として四件目となる乳児用寄宿舎をタイ王国チェンマイ県にあるアジアホープ孤児院に建設致しました。私も今年の二月に現地へ赴き、完成した寄宿舎の引渡し式に出席致しましたが子供達の完成を喜ぶ素直な笑顔に感動し、今回の施設建設の成功を確信しました。

また訪問の際には、在チェン

イ日本国総領事館の横田総領事様、ドイサケット郡の郡長様、そしてこの孤児院に対し資金面で協力しているアメリカ、オハイオ州の「アジアホープ財団」のディー・ブアドキンス代表も駆けつけてくれ、盛大に和やかに引き渡し式を終えることができました。

略

さて、日本の経済は、最近のサブプライムローン問題や原油高騰により、中小企業においては相変わらず厳しい状況であり、また一般家庭においても最近のガソリンや食料品の値上げにより、家計も不安定な状況であるように思えます。そして、先月には中国の四川省で発生した大地震では大きな被害があり、多くの尊い命が失われてしまいました。このような状況の中、世界の平和、繁栄を考えるとやはり「草の根外交」は重要なことだと考えております。今後とも皆様のご協力をいただいて、埼玉県の国際化、埼玉県とタイ王国の友好関係の維持発展を図り、ひいては世界の平和、繁栄に協力できれば本当にありがたいことと思っております。

最後に皆様方より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。先立ちまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

来年一月完成に向けて覚書を調印

ラフ族の学校に図書館を

九月八日、当友好協会からは西條副会長が現地へ赴き、本年度の施設建設事業に関する覚書の調印がバーンパーンホウエイター校との間で行われました。

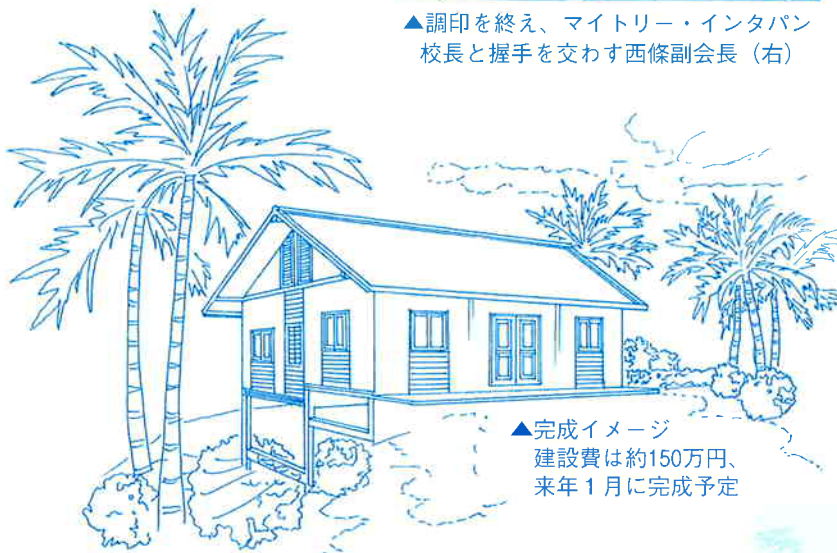
同校はチェンマイ市から北へ約75キロ、車で約一時間半の山岳地帯にあり、ラフ族の子供達が通っています。職員数は十名、児童数は一二四名。中には九キロの道のりを通って来る児童もいます。現在ある図書館は地下にあり、木造で古く、狭いため、今回の建設が決まりました。



▲調印に立ち会った皆さんと共に



▲調印を終え、マイトリー・インタバン校長と握手を交わす西條副会長（右）



▲完成イメージ
建設費は約150万円、来年1月に完成予定



▲原会長夫妻と校長。右端は本事業に協力を頂いているジャカリン氏(2月訪問時)



▲集落はアッサム茶の畑に囲まれている

～在りし日の土屋名誉会長～



土屋名誉会長 ご逝去

元参議院議長、前埼玉県知事で当協会の名誉会長である土屋義彦氏が十月五日、多臓器不全のため、春日部市のご自宅でご逝去されました。当協会は、土屋名誉会長の強いご意向とご指示により、設立された団体であります。土屋名誉会長には、当協会設立時から会の運営、活動に対し、多大なご指導、ご支援を賜りました。当協会が今日まで無事活動できているのも土屋名誉会長のお陰であります。当協会は、今後も土屋名誉会長のご意志を受け継ぎ、「草の根外交」を基本として活動を続けて参ります。

これまでの当協会へのご指導、ご支援に深く感謝するとともに、ご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



▲平成11年3月 設立総会で挨拶



▲平成18年2月 第2回北部タイ文化
交流祭で来賓として挨拶



▲平成19年2月 バン・ナイ・ソイ校への図書館寄贈式で地元の子
供へ記念品を贈呈

アジアホープ孤児院

託児施設の



去る九月八日、本年度の建設事業の覚書の調印後に、西條副会長は今年二月に託児施設を寄



▲第6回親善訪問(平成19年2月)の際、土屋名誉会長らがこの
孤児院を視察したことが、託児施設寄贈のきっかけとなった



▲記念品を手渡す土屋名誉会長



▲入所児全員と西條副会長

ヨット氏とジャカリン氏来日 狭山茶栽培や製造を見学

五月一六日、本年度の施設建設事業に協力して下さっている元日本留学生協会会長のヨット氏とタイで紅茶の製造販売をしているジャカリン氏が来日し、入間市の埼玉県農産総合研究センター茶業特産研究所を訪れました。当日は同所の小俣良助農学博士の説明を熱心に聞き、製茶の工程等を見学していました。



▲茶葉を噛んで味を見るジャカリン氏

タイ・ロイヤルプロジェクト メンバーが日本茶の研究に来日

九月十二日、タイロイヤルプロジェクトでウーロン茶等の茶製品の研究や市場開発などに取り組んでいるチェン・チャーエン氏とスパーブ・チャウナ氏が来日し、入間市の埼玉県農産総合研究センター茶業特産研究所を見学しました。二人は内野博司研究員より、茶の効用や製品化例等の説明を受けた後、茶園や茶工場を見学しました。



▲最新式茶刈機とお二人

タイにアクセス

会員 VOICE たくましく育ってほしい

ふじみ野市 田村芳人さん



この2月、始めて親善訪問に参加しました。訪れたアジアホープ孤児院で、親から見離された多くの子供たちを目の当たりにした時は、自分も同じ年頃の子を持つ親だけに大きなショックを受けました。自分に出来る

ことがあればやっていきたい、また自分の身の回りにこのような子供が出ない努力をしなければ、と強く思いました。思っていた以上に孤児達の表情がうらやましいくらい明るく、元気であり、これからたくましく育って欲しいと思いました。アジアは初めてでしたが、テレビや本で知っていることと、自分の手や耳、目で見るとは大違い、機会があったらまた行きたいですね。

これまで総会に出たことはありませんでしたが、今回活動に直接参加したことで、この友好協会のことを周囲の人にアピールするようになりました。

タイ大使館テントが登場

タイ・フェスティバル2008



▲当友好協会の展示を見る原会長

5月11、12日の両日、タイ・フェスティバルが東京都渋谷区の代々木公園で開催されました。あいにくの雨模様となりましたが、大勢の人で賑っていました。

今年はタイ大使館のテントが設置され、日本各地の団体とタイとの交流状況が展示されていました。当友好協会の活動も紹介されていました。会場を訪れた原会長は、多くの展示を熱心に見て廻り、その後はシマサクンタイ大使を初め、様々



▲スウィット・シマサクンタイ大使と原会長

なタイ関係者と挨拶を交わしていました。

奇稿 推薦します!!

「チェンマイの水」(宗像淳著)

個人会員 佐藤幸憲さん



▲文芸社 1500円

著者は日本医科大学名誉教授、チェンマイ大学名誉会員。40年にわたりタイの人々と交流、「忘れ難い不愉快なことはただの1度もなかった!」と87歳の今も毎年主としてチェンマイ地区の医療に出掛けて

います。68歳からタイ語を学び始め、タイ語で講演できるまでになり「英日タイ医学辞書」「日英タイ医学辞書」を執筆、出版しました。他にも「タイに魅せられて」「茜空ここはチェンマイ」など。タイをこよなく愛する著者の温かく時に厳しいまなざしが随所に感じられるタイ理解の好著です。

4万5千人の人出

水かけまつり&ワールドフェスタ

8月16、17日、さいたま新都心けやきひろばで第7回水かけまつり&ワールドフェスタが行われました。タイの水かけまつりから始まったこのイベントは、アジアへそして今は世界と内容が広がり、色々な国の文化や味に触れられる場になっています。タイ料理は4店、ムエタイショー、カービング体験などが行われていました。当友好協会も協賛団体として参加しています。



▲広場を埋めた人の波



▲見る人まで熱くなるムエタイショー

●0才児の孤児。価値観の違いを再認識。またアジアホープ財団に感謝。

●豊かさの中での子供受難。タイでもそういうケースが増えてきているそうです。

編集後記

バンコクのUIエレクトロニクス
スタイルランド内
02・712・6575

タイ事務局連絡先

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)